

○噴火によって火山の氷河地形は分からなくなるということであったが、今発見されている氷河地形は噴火後にできたものということか？

→現在、火山でみられるモレーンなどの氷河地形は、大規模な噴火が起こった後に形成されたものである。

○現在の氷河ライン、過去の氷河ラインは地域によって変わるのか？

→氷河ラインが平衡線高度のことであれば、高緯度ほど平衡線高度は低くなる。

○多角形土はくさび型に広がって大きくなるとあったが、その際に押された土によってまた違った地形の変化などは起こるのか？

→特に違った地形変化は起こらないと思う。

○永久凍土が存在しているか微妙な地域に永久凍土があるかどうかを調べて、細かくデータを出さないのはなぜか？

→永久凍土があるかどうかを調べるためには、時間とお金と労力がかかるが、永久凍土があるかどうかを知りたい人がそれほど多くないためではないか。

○地球の気温変化に比べ、二酸化炭素が増加して気温が上昇するのはわずかなのにもかかわらず、近年の二酸化炭素の排出を減らす活動が活発なのはなぜか？

→理由はいくつかあり全貌は分からないが、少なくとも3つの理由がある。一つは、たとえわずかな気温変化であっても、地域によっては、大きな環境変化につながる可能性がある。たとえば0メートル地帯では、10cmの海面上昇は危機的な場合があるであろう。2つ目は、わずかな気温変化が大きな変動の引き金になる可能性があるので、わずかな気温変化でも起こさない方がよい、という考え方である。3つ目は、さまざまな活動に有利に働く場合があり、たとえばハイブリッド車の技術を持っている会社にとっては、二酸化炭素排出量の削減は、大変有利な状況を作り出す。

○緯度と標高による永久凍土の分布を学んだが、植物の分布もこのように表せるのか？

→ある程度表せる。例えば、森林限界（針葉樹林とツンドラ植生の境界線）は、同じようなグラフに直線であらわせる。

○○○岳という名称と○○山との違いは何か？

→○○岳の方が、標高が高い山が多いように思う。

○次の氷期まで人間が地球上に存在しているとすると、私たちの暮らしはどのように変わるのか？

→地域によって異なる。氷床に覆われる欧米では、住む土地がなくなる。それ以外の地域は、年平均気温が6-9℃低くなる。

○日本には、ロシアの北端のようなカールが群発しているような地域はないのか？

→ロシアの北端にはカールは群発していない。永久凍土のことか？そうであれば、永久凍土の分布地域を緯度と標高のグラフで表してみるとよい。